



press release

朝日新聞

朝日新聞社 〒104-8011 東京都中央区築地 5-3-2

〈報道関係のみなさま〉

朝日新聞デジタルに4月19日、言論サイト「Re:Ron」がオープン

アドバイザーに永井玲衣、望月優大、三牧聖子の3氏

株式会社朝日新聞社(代表取締役社長:中村史郎)が運営するニュースサイト「朝日新聞デジタル」(<https://www.asahi.com/>)に4月19日、言論サイト「Re:Ron(リロン)」(<https://www.asahi.com/re-ron/>)がオープンしました。



Re:Ron のコンセプトは「立ち止まるためのメディア」です。

「論破」「ファスト化」「分断」といったネット世界の歪みがあらわになっています。多様な立場の人が安心して考えを発信し対話を重ねることで、社会的課題を問い直すことができる場を生み出したい。Re:Ron を新たな時代の言論サイトとして、読者のみなさまと共に育てていきます。

■インタビューシリーズ「ネット世界とメディア」

オープニング企画として、インタビューシリーズ「ネット世界とメディア～立ち止まって考える」が始まりました。各界で活躍する学識者、現場を知る当事者、次代を担うオピニオンリーダーたちの言葉から、ネット時代におけるメディアや言論空間のあり方、課題と可能性を考えます。

■人類学者がひもとく「コロナ禍とは」

連載「コロナ禍と出会い直す 磯野真穂の人類学ノート」では、在野の人類学者の磯野さんが独自の視



press release

朝日新聞

朝日新聞社 〒104-8011 東京都中央区築地 5-3-2

点やフィールドワークを通してコロナ禍を歩きながら考えたことをつづります。コロナ禍とはいったい何だったのか。人類学的手法を通じてパンデミックを映し出した社会の姿をひもときます。



〈磯野真穂〉 専門は文化人類学・医療人類学。身体と社会の繋がりを考えるメディア「からだのシュール」にてワークショップ、読書会などを開催する。

Re:Ron では、現場を知る当事者や専門家・キーパーソンによる論考を中心に、読者のみなさまが様々な社会課題について、立ち止まってじっくり考えを深めるためのヒントとなるようなコンテンツや機能を、今後充実させていきます。

■アドバイザーに3氏

Re:Ron 編集長に、弊社の文化部記者として映画やメディアの取材経験が豊富な佐藤美鈴(39)が就任しました。またサイトの伴走者として、永井玲衣(哲学者)、望月優大(ライター)、三牧聖子(国際政治学者)の3氏がアドバイザーに就きます。それぞれの専門分野や経験をもとに、サイトのあり方や方向性について助言していただきます。



〈永井玲衣〉 学校、企業、寺社などで哲学対話を行う。哲学エッセーの連載も。著書に『水中の哲学者たち』など。



〈望月優大〉 難民支援協会運営のウェブマガジン「ニッポン複雑紀行」編集長。様々な非営利団体の支援にも携わる。



〈三牧聖子〉 同志社大学大学院准教授。アメリカ政治外交、国際関係研究。著書に『戦争違法化運動の時代』など。

対話を重ねて「論」を深め合う。流れ続ける情報の前で立ち止まり、様々な言葉を通して世界を広げ、新たな景色にたどり着く。そんな場を Re:Ron は目指します。今後も Re:Ron にご注目ください。



press release

朝日新聞

2023年4月19日

朝日新聞社 〒104-8011 東京都中央区築地 5-3-2

【SNS】

- Twitter: https://twitter.com/ron_asahi
 - Facebook: <https://www.facebook.com/ron.asahi/>
-